

KISC 2

2024
February

Kagoshima Industry Support Center



株式会社ブレシード
代表取締役社長 松本 修一さん

今号の表紙



2023年12月、始良市に開設した「始良事業所」

株式会社プレシード

代表取締役社長 松本 修一
 <企業概要>

所在地 熊本県上益城郡嘉島町大字井寺250-9
 さつま事業所 薩摩郡さつま町時吉2038-5
 始良事業所 始良市三拾町1397-2
 設立 1989年11月
 従業員数 120名
 事業内容 自動機省力化機器の設計製作
 TEL 0996-24-8800 (さつま事業所)
 FAX 0996-24-8802 (さつま事業所)
 URL <https://www.preceed.co.jp/>
 E-mail info@preceed.co.jp

今号の表紙は、熊本県上益城郡嘉島町に本社を置き、本県の薩摩郡さつま町と始良市に新たに事業所を開設した株式会社プレシードの代表取締役社長 松本 修一さんです。

同社は、省力化機械メーカーで勤務していた松本社長が、「自身で開発した製品を作りたい」との思いから1989年11月に創業、以来、半導体製造装置やフラットパネルディスプレイ（FPD）などを中心に、液晶、自動車関連、自動車部品、食品機械といった幅広い分野の装置・システムを開発、製造しています。

主要製品は、半導体・液晶・電子部品・自動車関連の各種自動機（組立装置、検査装置）で、開発から納入（機械設計、制御設計、ソフト開発、加工組立据付）までを自社で行うことを強みとしています。

そのほか、各種機械装置の受託製造、インクジェット装置、板金加工、あかねグラノラの製造販売等も行っています。

自社商品の開発にも注力しており、クリーンかつ省エネルギーの大風量低速回転ファンなども製造しています。



大風量低速回転ファン

◇さつま町、始良市への進出

熊本では、台湾の世界的半導体メーカーの進出などで人材不足が課題となっており、人材確保や増加する自動機・省力化機械の新規受注に 대응するために、2022年10月に薩摩郡さつま町に「さつま事業所」、2023年12月に始良市に「始良事業所」を開設しました。

さつま事業所では、制御盤、小型の自動機などを製造、始良事業所では、自動化装置などの製造を行っています。

事業所の開設にあたっては、人とのつながりを大切にしており、両事業所ともに、撤退した企業の工場跡地を活用し、旧工場の従業員も引き続き雇用しながら、新規従業員の採用も行っています。

このような取り組みは、地域における新たな雇用の創出と地域経済の浮揚発展に大きく貢献するものと期待されています。



さつま事業所

◇今後の取組

「これまでは、お客様のニーズに対応した製品づくりを行ってきましたが、今後は、こちらから提案する自社企画製品の開発にも力を入れていきたいと考えています。

大きな目標としては、創業から30余年経ち、環境も整い人材も揃った現在の社内外の変化を千載一遇の機会と捉え、株式市場上場（IPO）を目指しています。

今後も、鹿児島との更なる連携を図り、また、鹿児島と熊本の連携推進の窓口を担い、両県をつなぐ橋渡しになればと思っています。」と、松本社長は語っています。

【2022年11月KISC会員加入】

CONTENTS

- 2 今号の表紙
- 3 私の思い
- 4 よろず支援拠点支援事例
- 5 プロフェッショナル人材戦略拠点
- 6 取引振興コーナー
- 7 わが社の輝く女性 株式会社 鹿島食品 上内侍 美香 さん
- 8 特集 第13回かごしま産業技術賞 受賞企業の紹介
- 10 ベンチャープラザコーナー
- 13 特集 新産業創出ネットワーク事業、起業支援伴走プログラム事業 事例紹介
- 14 会員企業PRコーナー
- 16 インフォメーション 広告

私の 思い



日本貿易振興機構（ジェトロ）
鹿児島貿易情報センター所長
石橋 洋一郎

千葉県出身
1999年 東京外国語大学卒
日本貿易振興会（現：日本貿易振興機構）
入会。
東京本部、愛媛貿易情報センター、パ
リ事務所、ラバト事務所、総務部人事
課などを経て、2023年12月より現職。

ジェトロを使って海外展開してみませんか

私どもジェトロでは、2023年度より新たな中期目標・計画が始まっており、主な役割として、①資本・技術・人材が国内外で循環するエコシステムの形成・強化、②農林水産物・食品の世界市場の促進、③中堅・中小企業など日本企業の海外展開支援、④日本企業の海外展開・通商政策における共通課題等への対応が挙げられます。

ジェトロは拠点として、本部（東京）、大阪本部、全都道府県に貿易情報センターを49事務所、海外には55カ国に75事務所を有しています。

ジェトロの職員はこれらの事務所を3～5年程度の周期で異動をして、それぞれの地で目標・計画の遂行、達成に向けて活動しています。

私は1999年にジェトロに入構し、これまで東京本部、愛媛貿易情報センター、パリ事務所（フランス）、ラバト事務所（モロッコ）で勤務をしてまいりました。

それぞれの地で様々な思いを持った方々とお仕事をさせていただきました。

2002年～2006年に勤務をした愛媛では当時、中国等の外国からの廉価なタオルが日本国内で流通し、タオルの一大産地である今治では当時の20年前と比較しタオル生産企業数が半減するほど深刻な影響を受けていました。

四国タオル工業組合や先鋭的な企業が中心となり、今治の高品質なタオルの売り先を求めて海外市場への挑戦に活路を見出しているところでした。

ジェトロ愛媛として海外事務所のネットワーク、展示会出展業務のノウハウ等を活かしながら企業の皆様方と一緒に北米の展示会に何度も売り込みに挑戦をしていました。

その後、2009年～2014年にはパリ事務所でもフランスをはじめ欧州市場の開拓を目指す日本の中

堅中小企業の進出サポートを担当しました。

私が入り扱っていたのは雑貨、アパレル、繊維などです。

フランスには世界的にも有名なブランド、メゾン、小売店がありますので、そこにどうにかして食い込んでいけないかと模索、活動をしていました。

パリの展示会では、愛媛の企業さんと再会し、今は欧州市場も目指しているとお話を伺い事業の発展を喜ばしく思ったこともあります。

一方、2018年～2021年に勤務をしたモロッコでは、経済規模や国民の所得額等といったことから日本製品の売り込み先としてというよりも、アフリカ・モロッコに工場を設置し、この地の廉価な土地、人件費等々といった投資コストを活かして、欧州市場に向けた輸出、市場参入を狙うという企業さんの投資案件をサポートすることが中心の業務となりました。

ジェトロ鹿児島では、2023年5月にコロナが5類感染症に移行した前後から海外からの来訪、県内企業が参加するリアルでの事業実施が増えてまいりました。

鹿児島には、豊かな農林水産品をはじめ魅力的なモノがあります。

また、それらを生産する地域も訪問地としても美しく、モノと地域のセットでインバウンドなど世界を惹きつけるものがあるかと考えます。

県内の産品、地域の特色、魅力などをご紹介させていただいたようなジェトロの国内外の事務所、職員のネットワークやノウハウを活かして、海外展開に貢献をして参りたいと考えています。

ジェトロ鹿児島を是非ご活用いただければ幸いです。

よろず支援拠点支援事例

事業再構築

有限会社
モスオウキッド

ゆうげんかいしゃもすおうきっど

代表取締役

濱田 卓郎 (はまだ たくろう)

090-8233-2572

〒891-0512 鹿児島県指宿市山川浜児ヶ水360

<https://phalaenoblanco.wixsite.com/mysite>

□事業者様概要

鹿児島県指宿市にて、温泉熱を利用してコチョウラン苗を開花前まで育成する事業を行っていたが、苗の根に特殊洗浄を施す技術開発を進め、光と水だけで花を咲かせることができる独自商品「ファレノブランコ」を展開している。平成10年度に鹿児島県構造改善事業の補助を受けてスタート後、起ち上げた事業を継続する形で平成11年1月に法人化。苗育成のノウハウを活かし農業指導を行ったり、枝豆など他作物の収穫作業も請け負っている。

独自商品のブランディングで、合理的にコンパクトな事業へ再構築。

1 現状

コチョウランの育成技術を活かした新事業展開に向けて

コチョウランを咲かせる直前までを担う苗育成事業は、店頭に出せるようになるまでに約2年を要する。収益化の効率が良い事業を検討していたところ、寒天培地で増殖するコチョウランのバイオ苗の存在を知り、薬品を使って洗浄し光と水だけで育てられる技術研究を進めていた先駆者からの指導や知見を得たことで、独自技術での商品化が可能となった。そこで販売に向けて地元金融機関に相談したところ当拠点を紹介され、相談に訪れた。



▲開花したファレノブランコ

2 課題

目を覆いたくなるほどの壊滅的被害、迫られる経営判断

当初は主力事業以外の収益化効率の良い別事業として検討を進めていたが、令和3年の鹿児島に上陸した台風により大きな被害を受けた。台風対策として、ハウスの家根や雨戸を外からスプリングで固定するなどして5~6時間かけ閉じていたため、台風が通り過ぎてもすぐにハウス内の熱を逃がすことができなかった。室温65度で1時間以上さらされた苗は黄色く枯れ果て、葉っぱの焼けた腐ったような臭いが漂い、取り返しのつかない悲惨な光景が目前に広がっていた。苗は壊滅的な状況となり、保証金や賠償金の支払いまでには至らなかったが、約半年分2000万円近くの収入が断たれ、配管交換や屋根の貼り替えなどの設備維持に数千万単位の資金が必要となり、経営の大きな転換が迫られた。



▲市場に合わせたテストパッケージ2種

3 対応

独自商品として花咲かせるためのマーケティングとブランディング

主力事業の立て直しには設備修理が必須だったが、膨大なコストがかかり、台風による壊滅的被害で取引先には不信任を与え、これまでの信頼関係を失い資金回収の目処も立たなかった。品種目目の転換も費用対効果が合わず難しかった。このため、育成管理の設備が不要で、大幅なコスト削減が可能となる独自商品「ファレノブランコ」の販売を促進することとした。よろずコーディネーターはブランディング強化を目指し、まず商品ブランドロゴとパッケージデザインを作るよう提案。ワイン用のケース、スタンドパウチ、筒型ケースなど様々な形態でパッケージテストを実施。合わせてニーズ調査を進め、市場の要望を把握し、ターゲット層に合わせた最適なデザイン選定を進めた。また、クラウドファンディングを行い、テストマーケティングと商品開発に必要な資金調達を成功させた。さらに、様々な催事や商談会への参加支援も行い、商品の認知度向上に繋がった。



▲ファレノブランコロゴデザイン

4 成果

設備譲渡で経費削減、合理的でコンパクトな事業に再構築

コチョウラン苗育成のための温泉熱利用設備の維持管理費などが、経費の大きな割合を占めていた。設備に価値があるうちにと譲渡先の目途をつけ、設備譲渡と育成事業を整理したことで大幅な経費削減に繋がった。これにより売上は半減したものの、利益は設備譲渡前とほぼ変わらず推移している。人件費も、必要な時だけお願いする臨時雇用に変更したことで削減。やりたい事業を残し、合理的でコンパクトな事業に再構築した。



▲催事参加の様子

支援のポイント

過酷な状況に晒されても再生し花を咲かせたコチョウランに、助けられた思いと花の強さを感じた強烈な経験から、商品化し展開したいという事業者の意向に寄り添い、細部にわたり確認を行いながら、その上で、高貴だからこそ影響力があり、生命力の強さを持つ部分を損なわない商品ブランディングを心がけた。コチョウランの新たなイメージ構築に向けたブランドロゴ、さまざまな市場に合わせたパッケージ検討、本当に届けたいターゲットに届けるためのデザインや広報の最適化を繰り返し、ブランディングを進めた。



相談者の声

敷居が高いと思われていたコチョウランを、もっと身近に感じてもらいたと開発したのが「ファレノブランコ」。思い描く商品ブランド構築に向け、経費を少なくする術や素人ではたどり着けない選択の幅、情報を駆使した思いがけないアイデアの提案、着眼点を変えることなど、様々な助言をいただき本当に感謝しています。



Instagram



Facebook



LINE



TEL / 099-219-3740

<https://yorozu-kagoshima.go.jp/>

カゴよろ



プロフェッショナル人材戦略拠点

人材不足の今、企業の頼もしい味方

◇プロ人材 482件（うち副業・兼業40件）の成約！

県内企業の成長発展を人材面からサポート。お気軽にご相談ください。

皆様、プロ人材確保でお困りではありませんか？



- 会社を成長させる人材が欲しい
- 新たな事業を展開できる人材が欲しい
- マーケティングができる人材が欲しい
- 自社産品をPR・ブランディングしてくれる人材が欲しい
- 経営を補佐する次世代人材が欲しい、等々・・・

当拠点では、県内企業の皆様に対し、経営や専門、即戦力等に即応できる人材の採用・獲得に向け、マッチングをサポートしています（登録人材紹介事業者は20社以上！）。副業・兼業人材の活用促進も始めており、LION(株)、AOI TYO Holdings(株)等、大企業の多彩・有能な社員の方々の副業促進にも共働して取り組んでいます。



副業・兼業人材活用は、皆様にとって① 問題解決の即戦力、② 低コスト、短期間活用が可能、③ 既存社員の意欲・スキルの向上など多くのメリットがあります！！特に、経営上様々なデジタル化の推進が待たなしの状況である中、その対応策の一つとして副業・兼業人材の活用は有効な手段です。



当拠点では、平成28年1月の開設以来、482件（人）（うち副業・兼業人材40件）のプロ人材の採用成約を実現！（令和6年1月末現在）。活用分野は、経営管理、販路・事業分野拡大、生産性向上、研究開発など多様。

◇プロ人材獲得までの流れ

- 1 まずは当拠点にご相談ください。
- 2 当拠点は、企業様の人材ニーズを把握→明確化し、共に企業情報シートを作成。
- 3 当拠点は、その企業情報シートを、提携している多数の人材紹介事業者へ提供。
- 4 人材紹介事業者は、登録している求職者に向けて、企業情報を公開・周知。
- 5 人材紹介事業者は、人材ニーズに適合する求職者を企業様に紹介。
- 6 当拠点は、人材紹介事業者と共に、採用に向けて、その紹介が円滑に進むようサポート。
- 7 求職者と企業様との間で、雇用契約あるいは委託契約（兼業・副業）を締結。



プロ人材の採用や副業・兼業人材の活用マッチングをサポートしている当拠点に、お気軽にご相談ください。

☎ 099-219-9277

「プロフェッショナル人材戦略拠点」

人材戦略マネージャー 木場 信人
 サブマネージャー 本 一郎
 人材活用支援専門員 野元 慶一
 人材活用支援専門員 有村 吉弘
 人材活用支援専門員 塩屋 文和

◇（公財）かごしま産業支援センター
 鹿児島県プロフェッショナル人材戦略拠点
 TEL：099-219-9277 FAX：099-219-1279
 E-mail：projinzai@kisc.or.jp
 URL：https://www.kagopro.jp/



取引振興コーナー

『令和5年度 かがしま取引商談会』を開催しました！

モノづくり関連の外注ニーズをもつ企業を発注側として本県に招き、受注側となる本県企業と商談していただく「かがしま取引商談会」を開催しました。

当日は、**甲信越・東海・中国・九州から14社の発注企業と51社の県内受注企業**が参加し、発注企業が事前に提示した「板金加工」・「機械加工」・「樹脂加工」・「自動機組立」・「プラント製作」などの外注ニーズに対し、受注を希望する本県企業が、発注企業の担当者に直接自社をPRしました。



開催日	令和6年2月7日（水）
場所	鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島市）
主催	（公財）かがしま産業支援センター
発注企業	14社 ※うち5社は、2ブース設置
受注企業	51社
実績	商談数126件 ※今後、フォロー調査を実施予定

商談中は、持参したサンプル品で技術力をアピールする積極的な受注企業の姿や、発注したい製品等のサンプル品や図面を提示して具体的な内容を確認し合う様子が見られるなど、会場のあちこちで活発な商談が行われていました。

また、商談した受注企業の生産現場を翌日さっそく視察に訪れた発注企業も多く、今回の商談会がきっかけとなり、本県企業の新たな取引に繋がることが期待されます。



<発注企業の参加者>

- ・素晴らしい技術を持った鹿児島の企業と知り合えた。
- ・あらかじめ当社の要望を詳しく伝えてもらっていたので、当日はスムーズに話を進めることができた。
- ・有意義な商談で、時間が短く感じられた。
- ・今回当社が希望した分野以外にも様々な業種の企業が参加しておられたので、今度は別の分野でも参加したい。

<受注企業の参加者>

- ・なかなか接点を持つことができない地域や大手メーカーの購買担当者から、様々な情報を得ることができた。
- ・調達の実務者に直接自社を売り込むことができ、手応えを感じられる商談ができたのでとても良かった。

取引振興課では、今後も県内企業の皆様と情報交換を行い、ニーズにマッチした受発注情報をお届けして、取引の拡大や新たな販路の獲得に向けて貢献できるよう努めてまいります！

【お問合せ先】（公財）かがしま産業支援センター 取引振興課 TEL：099-219-1274

わが社の輝く女性！

今号でご紹介するのは、鹿屋市で冷凍食品・加工食品等を製造している株式会社鹿鳥食品で、加熱商品の製造管理を担う製造2課長の上内侍美香さんです。

株式会社 鹿鳥食品

所在地：鹿屋市田崎町725-3

設立：1987年9月

従業員数：165名

事業内容：冷凍食品・食肉製品・そうざい製造業、農産物の加工販売、農畜産物の加工販売、乳製品製造業

TEL：0994-40-1501

FAX：0994-40-2496

URL：<http://katorifoods.com>

◆会社紹介

弊社は、鹿児島県鹿屋市で冷凍食品等の製造を行っています。

弊社の原点は養鶏にあります。1976年(昭和51年)に先代の創業者 延時憲人が“ひよこ”を買うところからその歩みは始まりました。

1987年(昭和62年)に冷凍食品製造事業へ発展させ、着実に成長を続けてきました。

鹿児島県という農畜産物に恵まれた地で最高の食材と、手作業に愛をこめて、日本一、世界一、オンリーワンの商品づくりを続けております。

パートナー企業の皆様とわくわくしながら商品を生みだし、世界中の食卓に彩りを提供できることは喜びの極みです。

「社員が幸せに働き、世の人たちに永遠に求められ続ける企業」を目指し精進いたします。



◆会社での現在の担当部署は

加熱商品の、調味料計量味付け・加熱・包装・梱包・資材工程の製造管理業務を担っています。

日々の業務としては、工場を巡回し現場内にて各部門のリーダーと製造内容・人員状況の打ち合わせ、各製造ライン、商品の状態確認、製造実績の確認等、製造に関する仕事に携わっております。

◆入社のおきっかけは

高校卒業後の就職を地元でと考えていた際に、弊社の求人を見つけました。

もともと、食べることや料理をすることが好きだったこともあり、食に関する業務に興味を持ち入社しました。

◆仕事上での印象深い体験談など

現在の立場になってから2年が経過しようとして

かみないじ

上内侍 美香 さん

製造2課 課長

さそり座

鹿児島県立申良商業高校卒

2008年入社



おります。数年前までは、商品開発部門に所属しており、製造現場の管理は初めての経験でした。

1年目は現場の状況を把握することに必死で、何とか日々を過ごしておりましたが、工場の中の皆さんは本当に温かく、あいさつをしてくれたり話をしてくれました。

そんな中、私の中で現場の皆さんが少しでも仕事をしやすい環境を作りたいと思い始め、現場の班長の方々に私の思いを伝えました。その際に話を聞き、意見を出してくれたことで方向性を何となく掴むことができました。

現在では、皆さんの協力もあり、少しずつではありますが改善に進んでおります。何より、私の思いに共感し協力してくれている皆さんには、感謝してもしきれないくらいです。



◆ものづくりに対する思いや心がけていることは

私たちが製造しているものは食品であることから、第一に安心・安全で食べてもらえる商品を作ることが必須であると考え、工場では、自分の家族や大切な人へご飯を作る気持ちで製造しているのがモットーです。

また、日々のコミュニケーションを大切に、皆が意見を出しやすい環境にすることで職場環境もよくなるのではと考えております。

◆会社への思いや抱負について

高校卒業後から15年間お世話になっており、社会人としての教育や仕事への取り組み方、たくさんの方々に出会うきっかけをいただきました。

たくさん経験をさせていただいたおかげで成長することができ、とても感謝しております。

今後は、私が教わってきたことや経験したことを後輩に伝えていきたいと思っております。

また、弊社の商品をたくさんの方々へ食べていただけるように頑張っていきたいです。

【2020年2月KISC会員加入】



第13回 かがしま産業技術賞 受賞企業の紹介

「かがしま産業技術賞」は、県内の中小企業等が開発した新製品・新技術のうち、特に優れたものを顕彰することによって、地域企業等の研究開発を一層促進するとともに、県民の技術開発に対する関心を高め、本県地域産業の技術の高度化及び活性化を図ることを目的としています。

このたび、応募のあった製品・技術について、審査委員会による厳正な審査を行い、大賞及び奨励賞を決定しました。2月14日(水)には表彰式を開催し、表彰式の終了後、第85回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」において、受賞記念報告会を行いました。

第13回 かがしま産業技術賞表彰式



《大賞》株式会社アーダン



《奨励賞》三州産業株式会社



《奨励賞》株式会社栄電社

《大賞》株式会社アーダン 「アーダン初の医薬部外品『シルケイド』」

受賞製品の概要

(株)アーダンは1995年の創業以来、シルク化粧品の製造販売をしています。今回、皮膚研究により新しいシルク配合製剤を開発し、ひび・あかぎれを防ぐ(有効成分:グリチルリチン酸ジカリウム)医薬部外品の薬用クリームを製品化しました。

受賞企業の概要

所在地: 鹿児島県奄美市名瀬和光町
7番地8
TEL: 0997-54-2378
ホームページ: <https://www.adan.co.jp>

受賞技術・製品



製造工程写真



製品化した商品

コントロール

シルク配合製剤



マウスによる創傷治癒評価結果
(12日後の皮膚断面の観察写真)

《奨励賞》 三州産業株式会社
『サツマイモ基腐用蒸熱処理装置』

受賞製品の概要	受賞技術・製品
<p>南九州・沖縄地域で深刻な問題となっていたサツマイモ基腐病に対して、三州産業（株）では、自社保持技術の蒸熱処理により殺菌効果が確認されました。この技術を基に生産現場での負担を軽減できる機能を付加した基腐病用蒸熱処理装置を開発しました。</p>	<p>●サツマイモ基腐病の発生病態</p>  <p>葉が赤変、黄変、株元の茎が黒変</p>  <p>品種「高系14号」の断面</p> <p>●蒸熱処理実証試験の実施例</p>  <p>蒸熱処理装置と処理状況写真</p>  <p>基腐病菌胞子液接種後の感染部位の比較（左：処理有、右：処理無）</p>
受賞企業の概要	
<p>所在地：鹿児島市南栄4丁目11番地2 TEL：099-269-1821 ホームページ：https://www.sanshu.co.jp</p>	

《奨励賞》 株式会社栄電社
『焼酎粕を活用した乳酸発酵飼料の開発』

受賞製品の概要	受賞技術・製品
<p>焼酎製造の副産物である焼酎粕は、動物に有用な機能性成分を多く含んでいますが、粘性が強く腐敗しやすいため有効利用が困難でした。（株）栄電社は、焼酎粕の粘性を低減し腐敗を防ぐ技術とサプリメント的な焼酎粕乳酸発酵飼料「CASパワー」を開発しました。</p>	<p>CASパワーの主な特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常温保存可能で、一年を通して利用可能 ・粘性を除去し取扱いが容易 ・機能性のある飼料として有用性を確認  <p>焼酎粕</p> <p>乳酸発酵</p> <p>CASパワー</p> <p>2ℓ・5ℓ PET ボトル</p> <p>畜産・養殖</p> <p>飼料利用</p> <p>25ℓ ドラム 1m³ タンク</p>
受賞企業の概要	
<p>所在地：鹿児島市下荒田1丁目36番24号 TEL：099-250-3348 ホームページ：https://eidensha-kk.co.jp</p>	

ベンチャープラザコーナー

第 84 回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

令和 5 年 11 月 15 日（水）に第 84 回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」を開催し、（有）エール、（株）中崎電子工業、（株）ウィズ鹿児島の 3 社にビジネスプランを発表していただきました。

来賓の大塚大輔鹿児島県副知事にごあいさつをいただいた後、会場・オンライン合わせて約 100 名の参加者が発表に興味深く耳を傾け、活発な質疑応答も行われるなど盛会となりました。



来賓の大塚鹿児島県副知事



会場の様子



展示コーナー

○発表その 1 オクラビューティープロジェクト ～オクラの秘密、教えます！～

有限会社 エール

代表取締役 倉本 哲
指宿市開聞十町129-2
TEL : 0993-32-3591
FAX : 0993-32-3862
URL : <https://yell-ibusuki.com>



発表する倉本代表取締役



オクラ / パウダー

発表内容

《企業紹介》

薩摩富士「開聞岳」の麓、指宿市にて創業以来、モノづくりのパートナーとして、人の手作業による半田、組立、検査、ケーブル加工など、電子部品製造を行っています。

新たな事業展開として、地域資源であるオクラを活用したプロジェクトに取り組んでいます。

《商品開発のきっかけ》

なぜ？オクラをパウダーに？

鹿児島県指宿市はオクラ生産量日本一。しかし産地が故の課題も…それはオクラ特有の曲がりやキズで流通されない規格外品の多量発生。食べられるのにもったいない！そこで、栄養豊富なオクラを、いつでも手軽簡単に楽しんで頂けるよう、粉末化。

産地だからこそオクラのスペシャリストを目指して。オクラのリーディングカンパニーとして、ヘルス & ビューティー市場へ新たな素材として提案しています。

《商品の特徴》

オクラパウダーはポリフェノールや食物繊維、妊婦さんに大切な葉酸が豊富に含まれており、小さじ1杯（4g）にオクラ5本分相当。水分を加えるとオクラの特徴であるネバネバが復活。デキストリン、食品添加物不使用のオクラ100%の製品です。

2023年2月、オクラでは初となる機能性表示食品となりました。（届出番号：H1123）オクラ由来食物繊維が含まれており、食事に含まれている糖の吸収を抑えて、食後上がる血糖値を抑える機能が報告されています。



◆規格外品を活用した新たな素材開発

発表後の成果・感想

この度はオクラの取り組み、商品について発表の機会を頂きありがとうございました。又、皆様より多くのコメントやアドバイスを頂き、今後のビジネス展開に活かして参ります。

今後の展望

大学との共同研究も継続し、新たな機能性表示食品の開発にチャレンジしています。「地域資源」だからこそ、地域連携を図り、地域課題の解決と活性化を目指し、今後もオクラのスペシャリストとして活動を続けていきます。



機能性表示食品
オクラからのエール

○発表その2 鹿児島で造る！FM送信機搭載臨時災害放送システムと難聴地域対策

株式会社中崎電子工業

代表取締役社長 中崎 啓文
 鹿児島市新栄町18番27号
 TEL：099-255-1637
 FAX：099-259-2620
 URL：https://www.nakazakidenshi.co.jp



発表する
 中崎代表取締役社長



可搬型臨時災害FM送信装置 ND-2101SJ-P
 と発電機

発表内容

《企業紹介》

1975年創業、航空局関連を中心とした電気通信工事を生業としてきた会社です。2011年にとあるきっかけでコミュニティFMの送信機を製作することになり、その翌年には自社でラジオ局「FMぎんが」の運営を開始しました。そこから発展して現在はラジオ関連機器の開発、他のラジオ局の技術支援なども業務の一環として行っています。

＜3つの提案＞

- 提案① 可搬型臨時災害FM送信機装置
- 提案② 電波見える化大作戦
- 提案③ ギャップフィラーシステム

《商品開発のきっかけ》

緊急時の情報をより多くの住民に届ける手段として、防災無線のデジタル化と並行して、FM波を使った伝達方法を検討する自治体が増えてきています。

また近年、大規模災害発生時の市民の情報源として、自治体が開設するラジオ局「臨時災害放送局」が注目を集めるようになりました。

それらの現状を踏まえて、弊社の技術で貢献できることはないかと考えた結果、弊社製品を軸とした一連のサービスに辿り着きました。

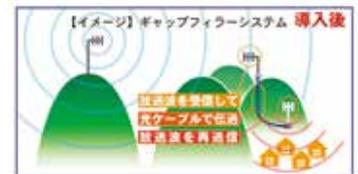
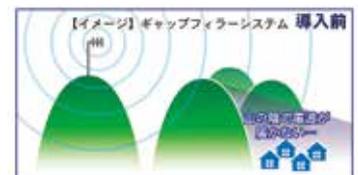
電波見える化大作戦



《商品の目的・特徴》

弊社製の送信機を組み込んだ「可搬型臨時災害FM送信装置 ND-2101SJ-P」には臨時災害放送局を開局するための機材が一式揃っており、災害時は総合通信局への電話申請で臨時災害放送局を立ち上げることが可能です。

また、電界調査専用車で放送予定区域内をくまなく調査し、あらかじめ難聴地域を把握した上で、難聴地域の解消に向けたサービスを提案することができます。



ギャップフィラーシステム

発表後の成果・感想

自分たちの事業へのアドバイスもさることながら、他業種の方々の挑戦やそれに対する多種多様なご意見等、大変刺激になりました。貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。

今後の展望

まずは県内の自治体を中心に、今回の商品の営業を続けていく予定です。また、他社との差別化を図るための機能追加、能登半島地震で顕在化した問題点に対し何ができるのか等も検討しながら、より良いサービスにするための模索を行っていきたいと思います。

○発表その3 **日本一豊富な鹿児島県の竹林を有効活用した竹堆肥や竹炭などをPRし、国内外へ売り込みたい**

株式会社ウイズ鹿児島

代表取締役 久保田 吉信
 鹿児島市西陵6-1-17
 TEL : 099-283-3488
 FAX : 099-283-3477
 URL : <https://www.rakuten.co.jp/with-kagoshima>



発表する
久保田代表取締役



竹を微粒粉碎し、長期発酵菌で熟成させた土壤改良材

発表内容

《企業紹介》

弊社は、平成19年4月に自動車販売会社として独立しました。その後平成25年4月より鹿児島県の孟宗竹（竹）を使い、年々低下する農地のミネラル不足を解決する土壤改良材（竹堆肥）を、近隣の農家様やネットショップで全国販売しており、循環型農業の手助けや環境の保全に貢献できるよう取り組んでおります。また、同じ竹を使ったものを竹炭にしたものや更にその竹炭を加工し、消臭・調湿・防カビ対策とした商品の販売もしております。

《商品開発のきっかけ》

農業の土づくりに権威ある北海道旭川出身の圓山源作先生は、青森県で肥料会社を営んでおられ、土づくりに精魂を傾けておられました。

圓山先生は、北海道の農耕は薩摩藩のお蔭だと、西郷隆盛をこよなく尊敬され、何とか薩摩藩（鹿児島）に恩返しをしたいとの思いで、遠路鹿児島まで足を運び、農業の講話をされておられました。その時に友人に誘われて圓山先生の講話を聞いていた私は、鹿児島県の竹を堆肥化することで、農地の地力の向上で世に貢献できるのであればと思い、商品開発に着手しました。



《商品の目的・特徴》

竹は、鉄・マグネシウム・カルシウム・マンガン・銅・ニッケルなど微量元素としてたくさんのミネラルやケイ酸を有しており、微生物の好きな多糖体も多く含まれます。これらが農地に活力を与えます。

- ◆植物は光合成によって糖を生成し、エネルギーにしたり実に蓄えたりしますが、竹に含まれる多糖体がそれを補ってくれます（食味の向上）。
- ◆竹が持っているシリカ（ケイ酸）は細胞壁を強化し、植物体をより強くします。葉や茎を硬くします。（病害虫の抑制）
- ◆土壌微生物が竹に含まれる多糖体をエサにして、より活発に活動し、土中の微生物バランスを整え、肥効を高めます。このため肥料が少なくすみすみます。（生育促進）

発表後の成果・感想

この度は、農地に活力を与える竹堆肥の発表の機会を頂きありがとうございます。早速、多くの質問もいただき疲弊した農地に悩んでいらっしゃる農家様が多い事を実感致しました。これからも農家様や消費者に少しでもお役に立ちますよう、生産性を向上させ、リーズナブルな価格と新たな商品開発に取り組んで参ります。

今後の展望

現在、地域の農家様やネット販売が主流ですが、九州の農家様や有機農家様に使っていただけるよう、サンプル商品も用意し展開したいと思っております。



「竹源作」の使い方

特集

県内の新産業の創出や起業を支援しています！

新産業創出に向けた専門家の伴走支援 ～新産業創出ネットワーク事業～

独自の技術を用いた新製品の開発や、地域資源等を活用した新産業の創出に取り組む県内の中小企業を対象に、新規事業の事業化から販路開拓までの各段階において円滑に事業を進めることができるよう、外部の専門家による助言など伴走型の支援を行っています。

外部の専門家の助言等を受けることで、これまで気づいていなかった自社の強みや課題が明らかになり、新たな経営戦略の立案や課題解決に向けた取組に役立てることができます。

令和3年度から3年間で延べ38社が支援を受け、円滑な事業化や売上増につながっています。

■令和5年度の支援事例 <鹿児島オリーブ株式会社>



圃場での専門家
との意見交換

鹿児島オリーブ株式会社は、日置市におけるオリーブ産業の6次化の発展に寄与することをミッションに掲げている事業者です。

これまでは、オリーブオイルを中心とした贈答品をメインに販売を行っていましたが、コロナ禍により、贈答需要が減少したことから、「美容」・「スキンケア」を新事業の柱として確立することを目指しています。

専門家の伴走支援によって、ターゲットとなる顧客像が明確になり、顧客に対する積極的なアプローチができるようになりました。

また、より効果的な販売ができるよう、販売員のノウハウを社内で蓄積・共有するとともに、社員が実践を通じて成功体験を積み上げ、振り返りを行うことで次に活かすサイクルが徐々にできあがってきています。

鹿児島オリーブ株式会社 ひとみ
代表取締役 水流 一水

所在地：日置市東市来町湯田1692-1

T E L : 099-295-3367

<https://kagoshima-olive.co.jp>

※令和5年度 伴走支援受託事業者：株式会社協働日本

起業等に向けた支援 ～起業支援事業助成金～

県内の起業等を後押しするため、鹿児島県ビジネスプランコンテストの最終審査会参加者を対象に、ビジネスプランの事業化を推進するために必要となる費用の一部を助成しています。

令和3年度から3年間で延べ21社が支援を受け、起業や新事業の展開に向けた取組を行っています。

■令和5年度の支援事例 <株式会社ベリーのおうち>

株式会社ベリーのおうちは、鹿屋市でドッグハウスを経営し、「犬の保育園・幼稚園」や「セラピードッグ育成・慰問」などを行っている事業者です。

令和4年度の鹿児島県ビジネスプランコンテストで優秀賞を受賞しています。

本助成金を活用し、令和5年11月に鹿屋市南部のセカンドハウス（ドッグラン併設）の敷地内にトレーラー型のセルフドッグスパを整備しました。スパでの愛犬へのシャンプーを通して健康管理や犬との関係づくりができるように、骨格・体形を確認し、病気・ケガに早期に気づくためのシャンプー指導をしています。

また、「しつけをもとにしたHAPPY LIFE」をテーマに、犬の全身の触り方やドッグマッサージの教習、トリマー時のお世話のしかたのレクチャーなど飼い主の各種相談・指導にも応じています。

今後は、セカンドハウスにてトレーナー育成に関わる各種研修事業も行い、地元で愛される「愛犬家と犬の総合施設」、地域の「災害対策のキーステーション」となることを目指しています。



県内初となるトレーラー型ドッグスパ



広大なドッグラン



株式会社ベリーのおうち
代表取締役 一村 彩子

所在地：鹿屋市田崎町4519

T E L : 080-4274-3758

<https://berry-ouchi.com>

【お問い合わせ先】 (公財) かがしま産業支援センター 産業振興課 T E L : 099-219-1272

会員企業PRコーナー【KISC会員限定】

事業案内、商品案内、新製品紹介等
会員企業の**営業活動**を支援します！

佐藤食品工業株式会社

[https:// www.hinodekko.com](https://www.hinodekko.com)

毎日の食卓に！ 納豆は体の応援団です。

◆2023年11月9日に、長野市で開催された第27回全国納豆鑑評会において、「九州納豆」が長野県知事賞を受賞しました。

九州産の大豆を使用し、ふっくらまろやかに仕上げました。

納豆に合う甘口たれを添付しています。

ほかに、麦入り納豆やひきわり納豆、鹿児島県産大豆を使用した鹿児島大粒納豆などを製造しています。



日置市伊集院町中川1019-1
TEL 099-273-9039
資本金 800万円
従業員数 22名

◆事業概要
納豆の製造・販売

【1990年3月会員加入】

窪田織物株式会社

<https://kubotaorimono.co.jp>

伝統産業である大島紬を守りながら新しいアイデアを！気軽に大島紬が学べる体験をぜひ！

◆鹿児島東開町において本場大島紬の製造、販売を行っております。今年で創業47年目を迎えました。日々、お客様に喜んで頂けるよう時代にあった絵柄や商品開発に取り組んでおります。お陰様で、令和3、4年度本場大島紬新作コンテストにて内閣総理大臣賞を受賞。鹿児島県特産品コンクールにて鹿児島純心女子短期大学とのコラボが実現し、鹿児島県特産品協会理事長賞を受賞いたしました。

また、最近ではお子様向けのお仕事体験や大人の方にも人気の染め体験、泥染め体験なども行っております。要予約。お気軽に電話、HP、Instagram、X（旧Twitter）のメールなどからお問い合わせください。



鹿児島市東開町13-12
TEL 099-208-5855
資本金 3,000万円
従業員数 13名

◆事業概要
大島紬の製造、販売、
卸売業
鹿児島中央駅新幹線
乗り場内「The さつま」
内にて小物販売

【2000年9月会員加入】

有限会社 九面屋

<https://kumenya.co.jp>

九州の自然を味覚で創る。（九州の特産品を上品で味わい深いお菓子に創ります）

◆新商品

むらさき芋大福

鹿児島県産のむらさき芋ペーストに、与論島の星の砂塩を入れ込んだまろやかな餡を創りました。

まろやかなむらさき芋餡を大福生地で包み込んだ逸品となっています。

◆販売所

- ・鹿児島空港内各売店
- ・鹿児島県内高速道路SA
- ・JR鹿児島中央駅など



霧島市隼人町真孝2270-34
TEL 0995-55-5596
資本金 1,000万円
従業員数 42名
創業 1930年

◆事業概要
菓子製造業
・かるかん饅頭、さつま芋菓子、餅菓子などの製造販売を行っております。

【2020年1月会員加入】

掲載企業募集中！ 『KISC会員限定』、掲載料無料です。お申込みは下記まで

【申込み・問い合わせ先】 (公財) かごしま産業支援センター 総務情報課

TEL : 099-219-1275 FAX : 099-219-1279 E-mail : info@kisc.or.jp

泰平食品有限会社

<https://taiheibontan.com>

阿久根市特産品「ボンタン」を使用した新商品！

◆阿久根市の特産品である大型柑橘「ボンタン」を原料に、様々な加工品を製造・販売しております。

創業以来50年以上作り続けている菓子「ぼんたん漬」の伝統を守りながらも、今後はこれからの時代に合った商品開発に挑戦していきたいと思っております。

「ボンタンコーラ」は、若い世代にもっとボンタンの魅力を伝えたいという想いから、下園薩男商店と共同で開発しました。さっぱり爽やかなクラブトコーラです。



阿久根市大川8370
TEL 0996-74-0056
FAX 0996-74-2078
資本金 500万円
従業員数 13名

◆事業内容
ボンタンなどの柑橘類の生産・販売
ぼんたん漬などの加工品の製造・販売

【2021年8月会員加入】

フードシステム ラボラトリー

<https://www.foodsystem-laboratory.com>

HACCP導入や食品安全マネジメントシステム認証取得、食品安全をトータルサポート！

◆「フードシステム ラボラトリー」は、鹿児島県の食品事業者の皆様を対象にHACCP導入、食品安全セミナー、内部監査など食品安全に関するコンサルタントを行っています。

小さな疑問～従業員教育までお気軽にお問い合わせください。

★フードシステムラボラトリーでHACCP導入を証明するJFS-B規格認証、ISO22000認証を取得しませんか？お問い合わせはホームページより受付中！

★今後の食品産業では規格認証を取得する企業が増えてきます。



お問い合わせは
こちらのHPより⇒



鹿児島市吉野町5799-12
TEL 099-294-9790

◆事業概要
HACCP 導入、
食品安全セミナー、内部監査、製造場内のふき取り検査、JFS-B 規格認証取得コンサル、ISO22000認証取得コンサル

【2023年4月会員加入】

株式会社 キーバインド

<https://www.keybind.com>

「企業と企業」「人と人」が大きな目的を持って共存共栄できる企業を目指します。

◆2002年の創業以来、金融機関（損保、銀行及び生保）のお客様を中心にシステム開発に従事しております。

社名のキーバインドは鹿児島の方言である「きばっど」を由来としています。経営理念である「共存共栄」を胸にお客様と共に繁栄していくことを目指しています。

2022年7月に鹿児島市と立地協定を締結し、9月に開設した鹿児島営業所では、自社パッケージ「SmartBind」を地域に向けた支援事業として推し進めると共に、首都圏案件の開発支援等を行っています。



鹿児島市名山町9-15
markMEIZAN303
TEL 099-248-9985
本社 東京都豊島区高田
3-18-11-4F
資本金 1,000万円
従業員数 鹿児島営業所 6名
総従業員数 72名

◆事業内容
SE 支援業務、ソフトウェア受託開発、システム運用管理、パッケージ開発 / 販売

【2023年5月会員加入】

専門家派遣事業のご案内

～経営課題の解決に経験豊富な専門家を活用してみませんか～

創業者や中小企業者が抱える経営・技術・人材・情報化などの様々な経営課題に対応して、当センターに登録している専門家を派遣し、診断や助言を実施します。



専門家に対する費用（旅費・謝金）の2/3を当センターが助成します。
対象要件など詳細については、お問い合わせください。

【お問い合わせ先】

（公財）かごしま産業支援センター 経営支援課
TEL：099-219-1273 Mail：keiei@kisc.or.jp

<https://minami-sinsa.com>



於：始良公民館

《内部監査員研修日程》

3月14、15日
ISO45001（安全）

4月4、5日
ISO9001（品質）

5月9、10日
ISO14001（環境）

ISOの審査はお任せください!!

ISOの審査と研修は

南日本審査(株)

- ・システム参考文書 無償提供
- ・内部監査員養成
- ・県内審査員で交通費も格安

始良市西餅田 3344-2

TEL0995-64-5727

